

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 5月 7日

所属・職名	サービス創造学部・教授	氏名	今井重男
研究課題	ブライダル産業およびブライダルサービスの研究		
研究キーワード	ブライダルツーリズム エシカルウェディング	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>○「ブライダルツーリズム」に関しては、観光学系学会において概念を発表するとともに、新たな研究メンバーと研究深堀の準備を進めた。</p> <p>○「エシカルウェディング」については、わが国のブライダルサービスに関わるエシカル視点での「フード」、「引き出物」、「フラワー」、「ジュエリー」、「ドレス」および「プロデュース」の実態を探索した。また、披露宴・パーティーにおいて、結婚するカップルがエシカル農業によって育て収穫した作物を使った料理（エシカルフード）の導入を研究した。具体的には、体験型農業を主宰する指導者・関係者、あるいは地産地消を掲げるレストラン経営者らと、可能性について議論を深めた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文】</p> <p>①「新婚旅行の歴史的変遷に関する研究－1950年代～70年代を中心に－」『日本国際観光学会論文集』（第27号）</p> <p>②「近現代日本のブライダル報道Ⅱ～大正・昭和中期の記事渉猟とヴェーバーの「資本主義の『精神』」～」『千葉商大論叢』（57巻3号）</p> <p>【学会発表】</p> <p>「新婚旅行における宿泊施設の変遷に関する一考察」日本国際観光学会 第23回全国大会 2019年10月19日 於 桜美林大学新宿キャンパス</p> <p>3. 主な経費</p> <p>ディスプレイ、自動翻訳機、カメラレンズなどの研究道具購入、学会年会費の他、関連書籍の購入や文具代に使用しました。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【科学研究費】</p> <p>基盤研究(C)：2016～2019年度、代表「「ブライダルツーリズム」の開発と展開可能性」（16K02081）</p> <p>【追記】</p> <p>上記の研究の発展・後継研究として、①基盤研究(C)：2020～2022年度、代表「我が国ブライダルツーリズムのビジネスモデル化研究」（20K12432）、②千葉商科大学経済研究所：2020～2021年度、分担、「訪日外国人旅行者による新婚旅行の特徴と発展可能性に関する考察」が新たに採択されました。</p> <p style="text-align: right;">（本文は1ページ以内にまとめること）</p>			